

科目名	構造力学Ⅰ				
担当教員	羽下 準嗣		実務授業の有無	有	
対象学科	建築士学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	講義	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	前期で学習した力学の基礎を基に、応力・トラスの解法を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	部材に生じる力（応力）からトラスの基礎的解法までを学習する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	教科書（やさしい構造力学）、配布プリント				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	部材に生じる力（基礎編）		これまで学習した外力・反力が部材にかかることによって部材の内部に発生する力（応力）の変化について学習。		
2	部材に生じる力（実践編）		基礎編で学習した、部材に生じる力（応力）及び応力図をより実戦的な解法で解く方法を学習。		
3	トラスの考え方		トラスの考え方を学習。		
4	トラス 接点法		トラスの接点法による解法を学習。		
5	トラス 図解法		トラスの図解法による解法を学習。		
6	トラス 切断法		トラスの切断法による解法を学習。		
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
評価テスト	取組姿勢			前期の力の基礎から反力、後期の応力、さらに2年次へと授業内容は関連しています。1年時の基本がとても重要になります。	
80 %	20 %	%	%	仕組みさえ理解してしまえば計算自体はとても簡単です。建築士試験でも出題される分野ですので頑張りましょう。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	建築設計事務所にて意匠設計に従事。				